

市民のひろば

市民の皆様からいただいたお便りの中から、ご意見や情報などを紹介します。



平

成18年に大阪より主人の定年を機に鹿屋へ来ました。主人は、高隈町の出身で私は天草出身です。言葉もようやく慣れ、平成30年の10月号の広報誌に私たちが鹿屋農業高校でのぶどう販売会に行ったときの写真が掲載され感動しました。自然体でもとても写りがよかったです。大阪に行った折、子どもたちに見せると「よかったね」と言ってくれました。ありがとございました。これからも夫婦共々良い情報探しにしています。(S・Hさん・女性)

当時の記事を見返してみると、農業高校生が育てた3種類のぶどうの前に、生徒が品種の説明をしている様子や真剣なまなざしで品定めをしているご夫婦の姿がありました。数ある写真の中から販売会の様子がよく伝わる写真だったことから掲載いたしました。喜んでいただき広報担当者として大変励みになります。例年8月下旬頃に開催される「農高産

ぶどう販売会」は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大等を考慮し、今年の開催は見送られました。今年「新鮮でおいしい」と評判のぶどうは毎週火・木曜日に開催される「農高市」で販売されていることです。今後も皆さんに喜ばれる写真やイラストなどをを用いて、見やすく、わかりやすく、親しみやすい広報誌づくりを目指していきます。

我

が家の隣は量販店で鹿屋体育も一生涯懸命に作業しており、「バングラディッシュから来ました」ととても流暢な日本語が返ってきました。祖国から遠く離れて家族への想いを込めながら、異文化や風習の違いなども多い中、しっかりとした信念を持つ頑張りや尊敬し驚嘆するばかりです。東南アジアや諸外国からこの鹿屋に来てくださりお礼を申し上げます。祖国への誇りを常に忘れず将来に向かってください！今の努力は糧となり、必ず自信につながります。(魔女さまさん・女性)

市内に暮らす外国人は、今年の4月末時点で713人と過去5年間で約2倍に増え、飲食店などでお客さんとして、また、魔女さまさんが言葉をお交わした留学生のように働く姿を見かけることも多くなりました。

7月号(No.348)の「育てよう多文化共生の心」では、祖国から遠く離れて生活する外国人が少しでも早く鹿屋での生活に慣れ、地域に親しくしてもらえよう、生活利便性の発行をはじめとする生活面の支援や、異文化理解や国際交流を深めるための活動などを紹介しました。

本

誌6月号で年々増える降水量がグラフで出ていました。天災ほど恐いものではありません。昨年も大雨被害があちこちで発生しています。「自分の命は自分で守る」を肝に命じて行動に移す覚悟です。(さすらいの宗やんさん・男性)

7月28日に九州南部の梅雨明けが発表されました。過去3番目に遅い梅雨明けであり、5月30日の梅雨入りからの降水量は市内で2,260.5mmと平年の2.7倍を記録し、特に7月上旬の記録的な大雨では多くの家屋被害や土砂災害などが発生しました。また、今年も統計史上初めて台風が発生しなかった7月となり、このことが梅雨の長期化を招いた要因の一つです。今後、台風シーズンに備え防災マップを活用し、今一度、避難先や避難経路の確認、非常持出品や備蓄品の準備など油断することなく備えることが大切です。

鹿 児島県でもコロナ発生に関する情報が伝えられ、いよいよ「対岸の火事」では済まされない状況になってきました。私達一人ひとりが自分の行動に責任を持ち感染予防に努める事が大切であると感じています。鹿屋市民のモラルのある行動に期待したいところです。頑張れ鹿屋！(M・Sさん・男性)

緊急事態宣言後、収束しつつあった感染者数は7月以降急激に増加し、感染の再拡大がみられています。引き続き日常生活の中で、身体的距離の確保、マスクの着用や手洗いの徹底などを実践し、感染予防に努める必要があります。また全国的な猛暑の中、市内でも37.6℃と観測史上最高となる気温を観測しました。マスクの着用により熱中症のリスクが高まりますので、人との十分な距離を確保しマスクを外すことや、こまめな水分補給などの対策も併せて実践しましょう。

かのやばら園・霧島ヶ丘公園



タイタンピカス

生育旺盛で強健な宿根草のタイタンピカスは、ハイビスカスのような花形で1輪の大きさが直径20cmを超えます。ばら園入り口付近と観賞温室で楽しめます。